

第12回執行委員会③

11月5日（金）12時50分～地本会議室

国労

蘇我運輸区分会ニュース

続・合図（放送）は何のため？

車椅子対応の

闇部分??

車椅子利用者の乗車の際、駅員から「○号車でお客さまご案内中です」「○駅まで、連絡済みです」といった車掌に向けた放送があります。これによって利用者が（特に女性）が大きな精神的苦痛を受けているという記事をSNSや大手新聞で見かけました。掲載記事を抜粋すると、この放送を聞いて、



その号車までわざわざ行き、当該利用者をからかったり、中には卑猥な言葉を浴びせたり、果ては足など触ったり、降車駅からも付きまといて来たり・・・そういったとんでもない輩が少なからずいるという内容でした。利用者からは当然「放送をやめてほしい」「何でこんな目に合わされるのか」という切実な声があり、一部の私鉄ではこの放送を既に取りやめ、JR会社でも検討中とのことでした。私たちの乗務する京葉線も車椅子での利用者がかなり増えました

まだまだいっぱい?! 車椅子対応の問題点

本当はそれを扱う駅社員の方が詳しいかと思いますが、特に県内のローカル線区では、まだまだ対応が追いついてない現状のようです。

最近、ローカル委託駅で駅員の休憩時間に、駅を介さずに電動車椅子旅客が乗ろうとしたら、車掌に「駅間での連絡が取れないので」という理由で乗車を断られたという事象がありました。

駅員も車掌も現状では落ち度はありませんが、窓口の短縮、閉鎖や設備の不十分さ、人減らし、無人化等々、会社側の利用者に対する不便をかける施策ばかりで、これでは信頼も失い、鉄道離れが加速します。

誰もが安心して利用できる鉄道を目指すところ、鉄道会社の使命ではなかったのでしょうか？！

が、こういった話は今まで聞いたこともなく、最初は俄かには信じられませんでした。同時に怒りもこみ上げました。ただでさえ傷害を持つて辛い思いをしている人たちを、皆で支えていくべき社会のはずなのに・・・

この放送は

本当に必要なのか？

駅員から車掌へのこうした放送によって、事件まがいの事象につながる

「降車駅のエレベーター付近が多いが、その辺りや、何の問題もない」

「車掌の前に乗せてくれりゃ、何の問題もない」

「降車駅のエレベーター付近が多いが、その辺りや、何の問題もない」

これは一番混雑する箇所、本当に車椅子利用者がそこを希望しているのか？ 駅員の都合なのでは？ といった声が出ました。何より弱い立場の人たちを、これ以上苦しめない対策を早急に進めなければなりません！



☆ 最後部車両への乗車については、屋根がない、ホームの状況等々、様々な理由で出来ない駅も多いですが・・・。